

留学先国名 : カナダ

留学先学校名 : University of Northern British Columbia

留学期間 : 平成 28 年 9 月 1 日 ~ 平成 29 年 5 月 1 日

私は前期 3 教科、後期 4 教科を履修しました。前期は、英語漬けの毎日に慣れるまで時間がかかると思い、3 教科のみ受講しました。私が履修した教科は一回生レベルの科目でしたが、予習の量がとても多くて大変でした。Introduction to Canadian Business の授業では毎週クイズの学習と 2 つの資料の音読を授業の前に取り組まないといけなかったため、ほぼ毎日勉強で忙しくしていました。クイズは記述式だったので、毎週しっかり復習を重ねないといい成績を収めることが難しい問題ばかりが出題されていました。対策としては、グループを作り、各自で学習した内容をディスカッションすることです。初めは、中々いい点数を取ることができなかったのですが、グループで勉強をするようになってから、徐々に点数が伸びていきました。Macroeconomics と Introduction to Global Studies では、教科書の音読と毎回の授業のノートを使い、学習をしていました。また、Introduction to Canadian Business とは異なり、グループを作って学習することが少なかったです。主にテスト前のみグループになって学習しました。

後期では、4 教科を履修しました。また、前期とは異なり二回生、三回生、四回生レベルの科目を選びました。そのため、前期に比べて大分忙しくなりました。授業のレベルを上げた理由は、私が興味ある科目が二回生以上だったことと、自分の知識を高めたかった思いからです。後期に履修した科目は、マーケティングの教科ばかりだったので、プレゼンテーションが多くありました。前期で、グループディスカッションをたくさんしていたため、グループで協力してプロジェクトを考えたり、人に自分の意見を言ったりすることに抵抗がありませんでした。そのため、すべてのプレゼンテーションにおいて、70 パーセント以上の成績を収めることができました。

ノーザンブリティッシュコロンビア大学での生活は、主に勉強が中心でした。その大きな理由は、大学のあるプリンスジョージが車なしで色々なところに行くのが困難なまちだからです。バスはありますが、一時間に一本、多くて二本なので、遠出はできません。日本の大学とは違い授業を受ける時間は少ないですが、その分課題が多いです。テスト前の二週間になると、夜遅くまで勉強をして、朝早く起きて勉強を続け、昼に寝るという不規則な生活をしました。そこで、ミールプランに加入していてとても助かったと思いました。カフェテリアは平日、午前 7 時から午後 11 時まで開いていて、何回でも出入りができたので、忙しい時期にとっても便利でした。ご飯が美味しくなかった日もありましたが、自分で料理ができる場所が確保されているので、時間があるときは友人と一緒にご飯を作っていました。また、一ヶ月に数回スーパーマーケットで自分の食べたいものを買っていました。寮に料理ができる場所と冷蔵庫があるので、息抜きとして時々料理を作るのはいいアイデアです。寮で生活していて、困ったことは特になく、ルームメイトと仲良くすることができました。ルームメイトとよく話し合うことをお勧めします。例えば、いつ掃除をするのか誰が何をするのかをしっかりと決めるといいと思います。また、寮内で問題が生じた場合には RA (Room Assistant) が 24 時間い

るので、電話をすると助けてくれます。RA の話を聞くと、騒音の苦情が多かったと言われたので、部屋を選ぶときは、静かで、綺麗好きなルームメイトを選ぶようにするとトラブルが減ると考えます。

カナダの留学では、さまざまな国籍の友人を作るよう努力しました。残念ながら、多くのアジアの留学生はアジア人の人たちと仲良くなる傾向が高いのですが、私はあまり良くないと思います。せっかくカナダという多国籍の国に留学するのなら、異なった考えを持った人と仲良くなって、いろいろな文化や宗教に触れると将来に役立つと考えます。今まで、イスラム教を信仰している友人は一人もいませんでしたが、今では3人もいます。イスラム教を信仰している友人ができる、配慮が必要なことがあります。例えば、カナダでは19歳で酒を飲むことができるのですが、イスラム教信仰者はアルコールが禁じられているため、その友人への配慮が必要となります。そのような経験は今後社会で生きていく上で大変重要だと感じました。色々な国とビジネスをする際にとってもためになる知識です。

私は留学費として、約160万円を準備しました。100万～110万円は、寮、強制加入のミールプラン、教科書代にかかりました。その残りは、主に防寒具や冬用のブーツ、そして休暇に使用しました。私からのアドバイスは、160万円以上用意をすると安心だと思います。一つ後悔していることは、ノーザンブリティッシュコロンビア大学が提供しているブリティッシュコロンビア州の保険です。前期と後期を合わせて500ドルくらいなので、そんなに高価ではありません。ブリティッシュコロンビア州の保険に加入すると、保険のカードが発行され、病院で診察する際に、カードを持参しているか聞かれます。その際に、日本で加入した海外保険しか持っていないと、診察料を診察の前に支払わないといけなくなります。また、大学から一番近い病院は私の加入していた海外旅行保険と提携を結んでいないため、キャッシュレスの対応が基本的にできません。私が現地で骨折をした時には、何回も保険会社に問い合わせをしないといけなかったため、とても面倒でした。ブリティッシュコロンビア州の現地の保険を持っていると、一々保険会社に連絡を入れる必要がなかったのではないかと思います。さらに、ほとんどの留学生は現地の携帯電話を持っている人がいないため、日本で加入した保険会社に電話をかけるのも、余計にお金がかかりました。私の経験を踏まえ、現地の保険への加入をお勧めします。休暇に必要な費用は、どこに旅行して、何をするのかによるので、日本にいる間に大まかに旅行の計画を立てるといいと考えます。

留学前の準備としては、お金と常に勉強をすることです。留学先では、勉強がメインになるので、日本にいる時から、勉強をする習慣をつけるといいと思います。お金に関しては、留学先に応じて金額が異なるため、どれだけの費用が必要かを自分でしっかり調べることです。私はカナダに行く前に、何にお金を使うかを大まかに考えました。

留学中は、各教授が授業で出す課題をしっかり期限までに終わらせるようにしましょう。わからない問題があれば、友人や直接教授に聞くことが大切です。また、勉強と遊びのメリハリをつけることも重要です。留学の主目的は勉強をすることですが、あわせてリラックスしないと力をすべて出すことができないので、必要に応じて余暇を取るようにしてください。当たり前のことですが、健康管理を自分でしっかりしましょう。

これから留学に行こうと思っている学生には、健康管理をしっかりとしていただき、勉強に取り組んで、思い出作りをしていただきたいと思います。

今回の留学では、様々な国の友人を作ることで、多様な文化に触れることが出来ました。さらに、現地で授業を受けて、将来マーケティングの大学院に進みたいという新たな夢ができました。今回の留学がなか

ったら、この夢はきっと生まれなかったので、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、カナダで学んだことを忘れずに、頑張っていきたいと思っています。

また、おおさかグローバル奨学金を受給したことにより、留学費を抑えることができました。

本当にありがとうございました。心に残る8ヶ月間でした。